様式第５号

令和 6 年度　学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	29	学 校 名	県立富士宮西高等学校	記 載 者	熊ヶ谷　智子

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	心身の調和がとれた生徒が育つ。	【規範意識】 ・「服装・頭髪・時間厳守など学校生活の規律・秩序は保たれている」と答える生徒90%以上。	A	A	・昨年度から更に取組みが進み、高い成果を得ることができたと思います。「心身の調和」は高校生活の源なので、引き続き大切にしてほしい項目です。 ・生徒、保護者との意見が乖離しないよう、学校と意思疎通を常に図るようにお願いします。 ・清掃活動は世界的にも注目されている教育活動です。授業時間が多くて実施が難しくなってきていますが、工夫・継続をお願いします。 ・全体的に成果目標が達成されていると感じる。保護者との連携については、連絡ツールで情報をしっかり伝えるべきだと感じる。生徒を介して保護者と連携を取るのではなく、学校と保護者が直接連携を取る事を期待する。 ・子ども自身が学校と家庭をつなぐ役割を認識し、自分の意見だけでなく学校の情報も含めて正確に伝える力が必要です。学校から情報提供もあると保護者の理解も高くなる。 ・学校だけでなく、地域で見る生徒は服装など整っています。校則や指導ではなく、生徒が主体的に取り組むことが大切です。 ・校内だけでなく地域で見る生徒はマナーを守り行動しています。 ・子供たちが投票済証明書を見せ合う雰囲気は社会参加の意識が高い。富士市の学生期日前投票立会人に許可を頂き活動できました。 ・学校訪問時はいつも整理整頓・清潔は保たれています。体調管理・がん教育など充実しています。また、生徒たちも明るく生活している様子があります。 ・学校内で生徒と教員が声を掛け合う姿を多く感じます。スクールカウンセラーの活用件数や状況を周知すると相談しやすいと思います。
		・「学校生活のルールや日常生活のマナー等の指導が適切に行われている。」と答える保護者90%以上。	A		
		・投票に行った生徒55%以上。	A		
		・授業等で情報モラルに関する指導をする。	A		
		・「校内の環境美化・衛生管理や健康に関する指導に取り組んでいる」と答える保護者 85%以上。	A		
		【教育相談】 ・「子どもは、明るく楽しく学校生活を送っている」と答える保護者90%以上。	A		
		・「学校は、子どもに関する悩みの相談に応じてくれる」と答える保護者80%以上。	A		
		・いじめ重大事案ゼロを目指す。	A		
		・特別支援委員会を必要に応じて開催する。	A		
		【保護者との連携】 ・「学校からの連絡・情報は家庭に伝わっている」と答える保護者85％以上。	B		

様式第５号

イ	**一人ひとりの学力が向上する。**	【授業】 ・「授業に対し、おおむね充実して取り組めている」と答える生徒 90%以上。	A	A	・非常に高い成果を得られています。先生と生徒が信頼し合い、内容の濃い授業が実施されていることの反映だと思われます。こうした成果は、現役生徒の学力向上のみならず、地域における西高の価値向上にもつながってくると考えます。 ・話し合い等の授業は、大学受験学力とは異なる能力育成ですが、各先生方の創意・工夫を期待しています。 ・効果的な授業の実施には、先生方の事例研究など今後とも大切になると思っています。 ・家庭学習は部活動との調整が必要です。生活実態調査の結果を今後に生かしてほしいと思います。 ・予習・復習など主体的な取組みの向上を必要と感じます。 ・土曜補講について、回数を決めて実施するとの事だが、「土曜日でも学校へ行けば勉強できる」という安心感が生徒にあると、学校の存在価値が高まるのではないかと思う。補講という手法以外に、何か出来ないか検討してほしい。 ・情報提供・連絡など端末を活用されています。先生方にとって配信時間も含め負担のないように活用ください。 ・生徒の自主性と、個別に質問しやすい関係ができていると感じます。上位の引き上げと、下位の底上げのバランスを取り指導していただきたいです。 ・学習時間の入力・振り返りの記入は、生徒が目的や効果を理解し自主的に取り組んでほしい。調査の実施だけではなく、課題分析も実施しており、充実している。
		・「話し合い等、主体的、能動的に活動する場を設けている授業である」と答える生徒 90%以上。	A		
		・年間３回以上の授業参観を行う教員が 90％以上。	A		
		・「学習しやすい環境にある」と答える生徒 85%以上。	A		
		・学期に１回以上、一人一台端末の活用についての研修や情報提供を行う。	A		
		【個に応じた指導】 ・「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒 90%以上。	A		
		・「補講、勉強会、個別進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立っていると答える保護者 80%以上。	A		
		【現状分析】 ・学力に関する検討会を学期に１回以上実施。			
		・家庭での生活実態調査を年３回以上実施する。	A		
		・各学年で計画的に家庭学習をするように指導する。	B		
ウ	一人ひとりの進路目標が実現する。	【総合的な探究の時間】 ・学務部及び「総合的な探究の時間」担当者で学期に１回以上情報共有及び検討する。	A	A	・高い成果を得ていると思います。現状で「B」が付いている項目も、もう少しの工夫や意義づけで達成可能だと思われます。 ・コンテストへの参加等、目標が具体的で生徒の意欲も高まっていると思います。 ・ビブリオバトルは大変成果を上げ
		・１・２年生の生徒全員が年に１回以上学習成果を発表する。	A		

様式第５号

		【読書指導】 ・平均年間読書冊数９冊以上。	B		ている活動であると思います。 ・読書時間については、読書の必要性の理解と時間管理の ・部活やＨＲ活動をとおして、ボランティア・社会貢献活動に携わる機会を用意する必要がありそうです。部活などで貢献している事もあるのであれば、実態に沿うような評価が望ましい。 ・英検については、大学受験における重要性から目標の一つに挙げられ成果を上げているが、その他の検定や資格についてはどうなのか？ ・実績が伸びる傾向にあり継続的な成果と感じます。専門学校や就職など選択した生徒も含め、第一志望の達成率や満足度も大切かと思います。 ・英検については、２級を目指す生徒の増加率、受験者・合格者の割合で評価したほうがいいのではないでしょうか。 ・生徒と面談を重ねて進路指導を頂いた成果と思います。 ・生徒の満足度が高いのに、保護者の満足度が低いため、生徒が保護者に伝えること、家庭での対話の必要性を感じます。 ・同じ科目でも、レベル別に分けて参考書や課題の提案があると、助かる生徒は多いのではないかと思う。 ・家庭での自学自習や補習として、ICT を活用した自学教材が活用できるとよい。
		・生徒全員がビブリオバトルに参加する。	A		
		【地域貢献・連携】 ・20％以上の生徒が年１回以上社会貢献活動・ボランティア活動に携わる。	A		
		・企業・自治体・ＮＰＯ等、地域との連携３件以上、地域人材等との連携５人以上。	B		
		【進路指導】 ・国公立大学及び難関私立大学合格者 35％以上。	B		
		・英検２級合格者 35 人以上。	A		
		・「適性・進路などに応じて選べる類型や選択科目がある」と答える生徒 90％以上。	A		
		・「進路指導は、進路選択に役立つものになっている」と答える生徒 85％以上。	A		
		・「進路行事や担任による個別面談等、進路指導は適切かつ効果的に行われている」と答える保護者 80％以上。	A		
エ	**活力にあふれ、魅力ある学校になる。**	【学校行事】 ・「学校行事に満足している」と答える生徒 85％以上。 ・「子どもは、学校行事に意欲的に参加している」と答える保護者 90％以上。	A	A	・学校の活力は地域にも伝わるため重要な項目ですが、先生方の負担調整との兼ね合いが難しい項目でもあると推察します。先生一人ひとりのウェルビーイングの上に成り立つ活力アップであることを願います。 ・生徒・保護者のエンゲージメントを高める上で学校行事は重要と思います。生徒・保護者の参加意欲を今後とも高めていく工夫を期待しています。 ・部活に参加することで学校生活に充実感を感じている生徒も多いと思います。教員数や勤務時間が限られる中、どのように折り合いをつけていくか、難しい問題ですね。
		【部活動】 ・「部活動への参加により、学校生活を充実させることができている。」と答える生徒 80％以上。	A		

様式第５号

		【広報】 ・HP だけでなく SNS における情報発信の体制を確立する。 ・最新の情報を更新する。	A		・活動実績は充実していますが、時間管理や地域貢献の認識も含めて充実することを期待します。 ・保護者と教員が一体感を持って生徒の成長を支えていくかという点で大事だと思います。情報発信だけでなく相互の意見交換を図れるようにしていってください。 ・部活動について、２・３年生は任意加入となるそうだが、勉学以外の成長の機会は必要なので、何かしらの機会を提供する事を期待したい。 ・Instagram の活用は大いに評価する。今後は生徒の判断で投稿できるようにしたいとの事だが、情報の重要性は生徒では判断出来ない（責任が取れない）と思う。検討してほしい。 ・生徒が輝く姿は学校訪問時からも感じます。公式インスタグラム・新聞報道などから保護者の認識も高いと感じます。
オ	安全・安心な学校になる。	【防災】 ・地域防災訓練参加率65%以上。 ・校内防災訓練２回。	B	B	・地域防災訓練に参加意思なしの様子はは重大な課題です。部活の日程に配慮など、社会の担い手として責任ある行動を期待します。 ・安全教育は校内で学ぶものから、社会の一員として行動する生徒を期待します。 ・本校では不祥事事案がなく安心しています。先生方の心身の健康管理も大切にしてください。 ・おおむね目標は達成できていると思います。「施設・設備」を改善することは、予算制限がある中、学校単独での取組みが難しいと推察します。保護者の理解を得つつ、できるところから進めてほしいです。 ・予算が限られる中、施設設備の維持管理は難しいですね。工夫して問題解決できるかどうか、限界かなとも思います。 ・施設・設備とは老朽化でなく歴史、整備とは最新ではなく安全であり、設備投資の財源も含め、生徒・保護者が理解することが必要と感じます。 ・自転車通学者のヘルメットの義務化を検討してはどうか。
		【安全教育】 ・年に１回以上安全教育に関する授業を「安全教育計画」に示された教科で行う。	A		
		【不祥事根絶】 ・教職員の不祥事件数ゼロ。	B		
		【施設・設備】 ・「教育環境の面から見て、施設・設備は整備されている」と答える保護者 80%以上。 【会計処理・物品管理】 ・監査及び会計・物品事務指導検査における指摘件数ゼロ。	B		
		【業務改善】 ・分掌組織のスリム化及び業務を見直し、業務の平準化を行う。	B		